2022年
第291号

戸山サンライズ

特集 第３６回　障害者による書道・写真全国コンテスト 結果発表

全国障害者総合福祉センター

←これは、SP コードです。
専用読み取り装置の使用により、誌面の内容の音声出力が可能です。

ごあいさつ

「障害者による書道・写真全国コンテスト」は、令和３年度に第36回開催を迎えることができました。

前年度に続きコロナ禍での実施となりました。にもかかわらず、ご応募下さった皆様、作品を取りまとめ下さった皆様、審査委員の方々、全ての皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

外出制限などにより活動が難しかったクラブや教室もあったことと思います。また、家に居る時間が増えて、個人や少人数で書道や写真を始めてみた方、じっくりと作品作りに励まれた方もいたのではないかと思います。このようなことを想像しながら取りまとめをしている私どもも、一つ一つの作品から癒しと励ましと元気をいただきました。ありがたいことと思っています

全国から書道843点、写真131点、携帯フォト60点、計1,034点もの作品が集まりました。今号ではその中から入賞された方々の作品をご紹介いたします。是非ごゆっくりお楽しみいただければと思います。

そして筆やカメラを持つ機会がありましたら、是非、次回へのご応募をお待ちしております。

全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）

第36回障害者による書道・写真全国コンテスト

写真部門　金賞「春雪に耐える　しだれ栗」

長野県　金森　悦三

このコンテストは、障害者の文化活動等の推進を図ることで技術の向上、自立への促進並びに積極的な社会参加を目的として、(公財)日本障害者リハビリテーション協会（全国障害者総合福祉センター）の主催により毎年開催されているものです。

目　次

2022年 第291号

■特集

「第36回 障害者による書道・写真全国コンテスト」結果発表
審査員総評 …… 1
入賞作品　金賞 …… 2
銀賞 …… 6
銅賞 …… 11
携帯フォト …… 16

第36回 障害者による書道・写真 全国コンテスト 審査総評

（書道部門）

新型コロナウイルスの感染蔓延により今までの日常生活の営みの維持が難しくなった今年でした。「三密」を避けての指導は学校や授産施設等に大きな影響を与えてしまいました。集団での行動が制約されて仲間との語らいによる心の昂揚や癒し、協和しての行動にも枠を嵌められて何とも不自由な日々を過ごした一年であったかと思います。しかし出品者の皆様は負けずに日々鍛錬に励んでいたとの証拠を見せています。一日も早い社会復帰にとの強い意志を感じさせる力感溢れる作が集まりました。

全体を見渡しますと対面指導の減少により学校や施設単位による出品の減少は大きかったと思われます。身体障害者の受賞者は重度の上肢障害の方々が多くおられます。その力強さに魅かれました。健常者に負けない光がありました。他の作品も自由な心の動きや緊張感に深い感動を覚えました。今できることを無理せず楽しみながら実行することが光を生み出していると思います。書は心から楽しめば生命力のある線が、作品が生まれます。受賞作にそれを見て欲しいと思っています。又、出品数843人すべてに光があり苦渋の選別を強いられました。

渡部　會山
（創玄書道会審査会員、毎日書道展審査会員）

（写真部門）

第36回障害者による写真全国コンテストに、コロナ禍の中、写真部門131点、携帯フォト部門60点もの多数のご応募を頂きありがとうございました。

身近な光景から雄大な自然まで全国各地の作品が集まり、楽しく拝見させて頂きました。

写真は、文化、言葉の違いを越えて、撮影者が、美しい、かわいい、すごいと感じたことを自分だけでなく人に伝えるための表現方法です。何を撮るか、何を表現するか、何に感動して撮影したのか、対象にどれだけ惚れ込んだのかといった撮影者の感性が重要になってきます。構図が決まり綺麗な作品というだけではなく、多少主題が画面からはみ出したり画面が傾いていても、撮った時の感動や思いが観る側の心に響く写真には強さがあります。撮影者が対象に感動して撮影しなければ鑑賞者も感動しません。今回は応募作品の中から、撮影者の感動、想いが観る側にストレートに伝わり共感できる作品を中心に選びました。

写真のタイトルも自己表現です。見てわかるタイトルから撮影者が感じた想い、感動をタイトルにすることで、作品とタイトルが共鳴し、鑑賞者に撮影者が作品に込めた想い、感動がさらに豊かに伝わると思います。

「上手な写真」とは、アングル、レンズワーク、構図、露出の適切な写真です。「良い写真」とは、素直な感動に基づいた共感を伴う写真です。率直で純粋な感性、感動する心が大切です。技術と感性の二つが共に磨かれ高められ融合すれば「上手くて良い作品」になります。

写真表現は自由です。個性や感性、技を磨き、好奇心を持って、楽しく写真をたくさん撮りましょう。

儀同　政一
（フォトグラファー）

〈書道部門〉
金賞

「歩」
青森県　神　龍飛
堂々とした力強い線が大変魅力的で大きな空間をしっかりと掴んでいます。何物にも負けないとの心意気を十二分に表現した力強い作品です。

「空」
兵庫県　橋本　直染
秋空の奥行きのある空を想わせる作品です。白雲と青空の中にポッカリ開いた所に宇宙の広さを想います。渦まく線が一際心を揺する作品です。

「夢」
兵庫県　吉岡　好子
力強くそして余分な力の抜けた線が紙面にガッチリと喰い込んでいます。字形への高い把握力がすっきりとした姿態の爽やかな文字となりました。

「鳥棲影動」
静岡県　村上　洋子
永年に渡る修練の積み重ねは伸びやかで自在な運筆に表れています。書は心画であると言うように心の暢達さが紙上によく表れています。

「花」
兵庫県　大西　久恵
確かな手腕を発揮しています。白と黒の鬩ぎ合いに細やかな心の動きを見せた送筆の動きは余裕と自信に裏付けられた賜で見事な作となりました。

「成長の証」

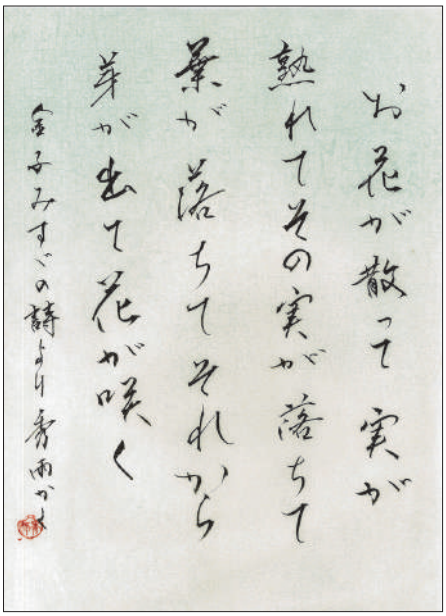
鹿児島県　堤田　丸子

鋭い感性を覚えるキリッとした線が大きな動きを見せた作品です。余分な動きの無いすっきりとした筆跡は紙から飛び出すような動きが見事です。

「牛の創作」

広島市　曽根　晃子

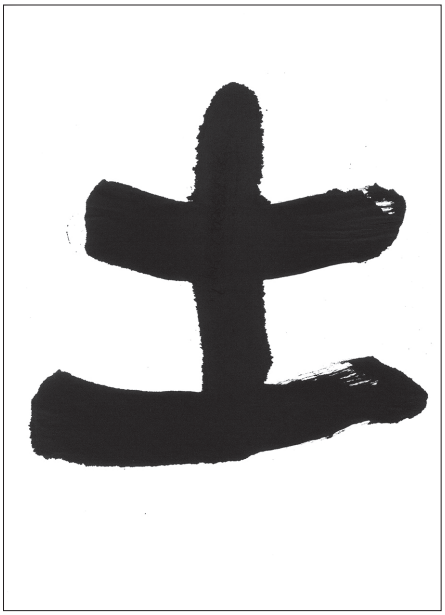
丑年の今年に相応しい題材を力強く楽しく表現しています。原始性豊かな文字造形で大胆に意表を突く表現が子牛のような優しい牛となっています。



「金子みすずの詩を」

山口県　髙橋　郁子

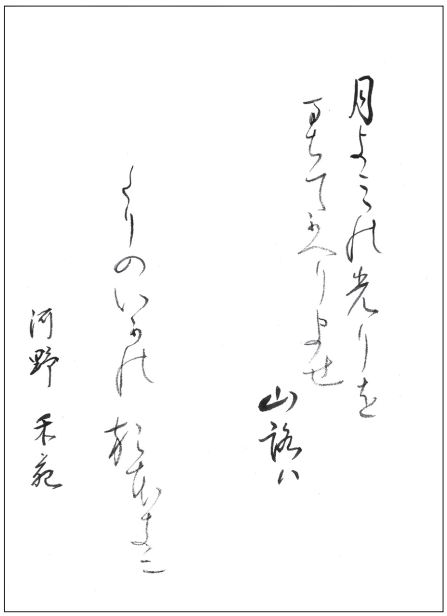
金子みすゞは優しい情感の詩が多い。その詩を優しく丁寧に書いています。字間、行間の微妙な関係などが詩情に添った豊かな表現となりました。



「土」

浜松市　名倉　未知

大地は万物育成の母ともなる優しく豊かさに満ちていますが、この作からは本当に土の温かさや優しさが滲み出る表情があり心豊かにさせられます。



「良寛」

福岡市　河野　はる美（禾苑）

小筆での表現は力具合が大変難しいが余分な力の抜けた筆致は美しい流れのある仮名作品となりました。手慣れるまでの永い時間が窺える作です。

〈写真部門〉
金賞

「萩姫」
福島県　佐藤　光政
萩娘の笑顔と傘に添えた手がとても良いシャッターチャンスで撮影され、華やいだ風情ある祭りの雰囲気を醸し出しています。

「春雪に耐える　しだれ栗」
長野県　金森　悦三
風雪の中、凛と立つしだれ栗をスポットライトが綺麗に浮かび上がらせて幻想的な作品になりました。

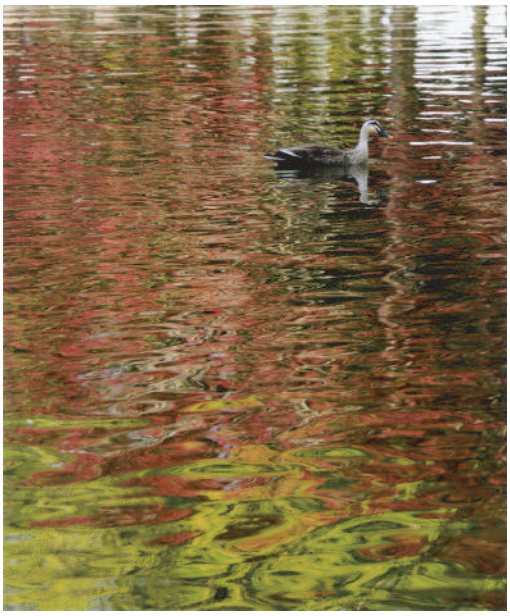
「マスクの下は笑顔」
宮城県　沼倉　信子
顔を画面一杯に撮影したことで仲の良い二人の素敵な笑顔が強調され、ほっこりする作品になりました。

「夕暮れのカップル」
埼玉県　渡辺　和博
綺麗な夕暮れ時、カップルを指輪の輪の中に入れシルエットで撮影したことで、ロマンチックで素敵な作品になりました。

「ファミリー」
愛知県　中嶋　哲夫
家族の一員である 4 匹の子犬を愛情を持って撮影されている姿が印象的です。観る人の心を温かくする作品です。

「美味しそーー！」
仙台市　小林　輝
雨上がりの日に水滴の付いた蓮の花の蕾がとても綺麗に表現されました。バックが黒くなったことで蕾が浮き上がって見えます。蓮の花の蕾に１匹の蜂が、とても良いシャッターチャンスを捉えました。

「不忘山を望む」
仙台市　千葉　弘
快晴の青空に雪をかぶった山々、大自然が織りなす綺麗な紅葉と滝、心安らぐ美しい風景写真です。



「色彩の中を泳ぐ」
仙台市　渡辺　加津子
１羽のカモ、水面に映り込んだ木々が油絵のように美しく表現されていてとても素敵な作品となりました。

「トンネル」
静岡市　望月　翔太
トンネルのライトの光、自動車の光跡がとても面白く表現されています。撮影者の感動を見事な作品に仕上げた感性が素敵です。

「春告鳥」
広島市　小西　由美
花にとまったメジロを見事に捉え、背景を黒く落としたことで美しく素敵な作品になりました。

〈書道部門〉
銀賞

「契晤」
山形県　工藤　松子
すっきりとした清澄な線は作品中に爽やかな風を生じています。自信を持って送筆した賜物です。結体、章法共に高度な力を見せています。

「志」
岐阜県　三浦　一能
力強く伸びやかな線で豊かな情感を彷彿させる見事な作品となっています。余分な力の抜けた下部の線は筆圧、速度等章法の高さを見せています。

「生える」
青森県　佐藤　颯来
大地は不可思議な力を持って命あるものを育てています。その生育する様子を上方へ上方へとの動きで力強く上手に表現して生命力を感じます。

「馬」
岐阜県　田中　勝大
千里を駆ける名馬のように疾走する馬でしょうか。力強く下方に引かれた線と上部との組み合わせは心に浮かんだ残像表現を感じさせる快作です。

「慈　いつくしみ」
滋賀県　村田　和子
心の緊張を窺える一本一本の漲りある線が見事です。線の強さが際立って紙面に深さを与えています。この線の深さはやはり鍛錬の賜物ですね。

「はばたき」

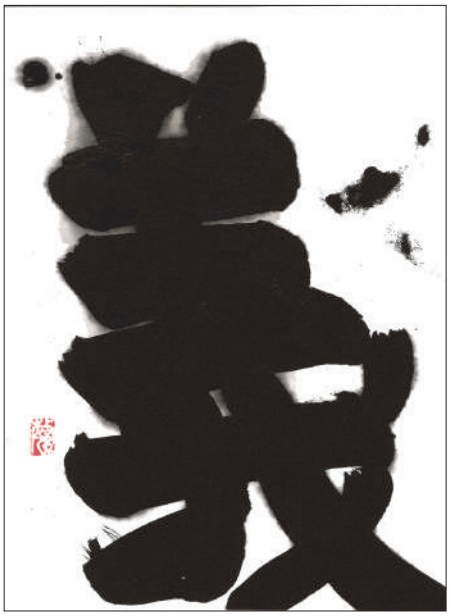
香川県　野崎　涼雅

筆を打ちつけ、擦る、引くなど多彩な動きが作中に動きを生じさせ飛び跳ねる人のさまや、鳥の巣立ちかななど想像を掻き立てる楽しい作品です。

「義」

仙台市　野地　繁

青墨の重量感溢れる作です。暗過ぎないよう青墨での表現が見事で白が活きています。左手での力強い線は修練の永さと心の強さが紙面に出ています。



「夏雲多奇峰」

鳥取県　仲曽　千夏

乙瑛碑を想わせるどっしりとした隷書作品です。隷書の緊密性や横への動きを十分捉えて沈潜されたゆったりとした動きでの送筆が見事です。

「気」

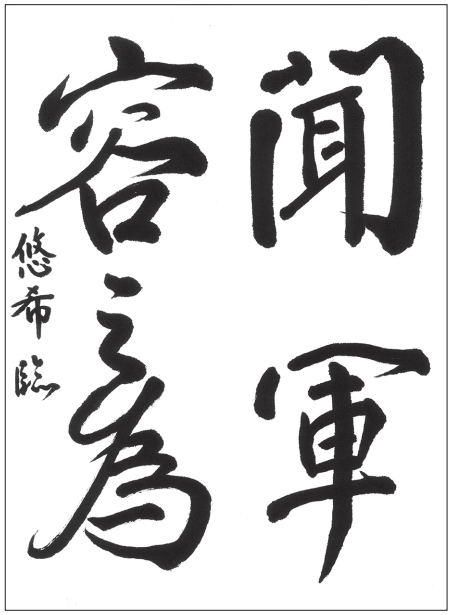
宮崎県　那須　忠

強い意志を感じる横画の強さは心の強さが出ています。送筆に心の揺れや乱れが無く一気呵成に引かれたこの書線の澄んだ強い線に魅かれます。

「爭坐位帖（顔真卿）」

仙台市　櫻井　悠希

硬骨の人顔真卿の臨書。直筆での表現は線に伸びと強さを与えています。無理の無い自然な筆法での書線に心の余裕を感じさせ明るい作となりました。

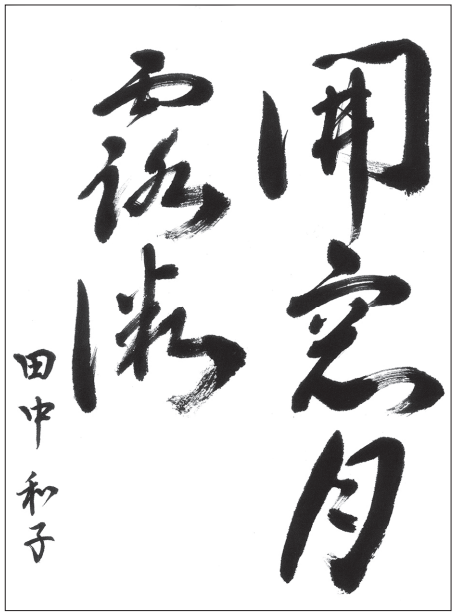


「雨」
浜松市　鈴木　都子
小字での表現は困難極まりますが明るくそして楽し気に書いている所に魅かれます。この楽しさが作品を明るくし見る者に元気を与えてくれます。

「秋茜」
広島市　村松　耕
夕日に羽を輝かせながら飛び廻る赤トンボのイメージとのこと。上部の軽やかな筆致が美しい。情感を膨らませて楽しく書くことは大切です。

「爽気淡心神」
熊本市　内田　美幸
漢時代の隷書中最も力強さを持っている禮器碑の特徴をよく掌中のものとしています。水平に線を引く困難さを克服しての高度な作品となりました。

「「生」きる」
京都市　田中　祥吾
生気溢れる力強い線がコロナ等の制約に負けてたまるかと叫んでいる剛直な心が紙面一杯に溢れています。皆も頑張れと励まされる作品です。



「開窓月露微」
福岡市　田中　和子
無理のない自然な運筆が線に艶を出しています。的確な筆の捻転は線の深さと柔らかさを見せており、行草作品の真髄を出した快作となっています。

〈写真部門〉
銀賞

「老木の生命力」
宮城県　狩野　静江
老木が大地にしっかり根を張っている姿を強調し、老いても懸命に開花させている姿が私たちに元気を伝える作品になりました。

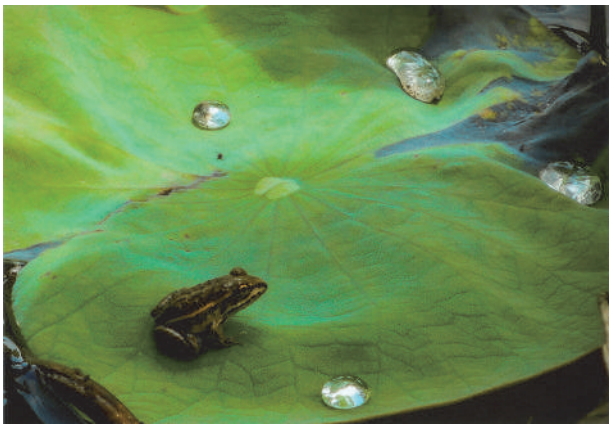
「元気に泳ぐカルガモ親子」
埼玉県　秋本　茂一郎
木々が油絵の様に美しく反射されている中、親ガモの後を小ガモが一列に元気に泳ぐ姿が愛らしく撮れています。

「巨大野菜（山の芋と大根、百姓さん）
応募者本人（でっかいの採ったぞう）」
岐阜県　坂井　明二
丹精込めて育てた大根を持っている姿から野菜に対する愛情が伝わります。人の足のような根が愛嬌があって面白い作品になりました。

「狙う」
滋賀県　徳田　真康
集中力を切らさず魚釣りをしている一瞬を見事に捉えた作品です。全体を写さず釣り人を強調して撮影したことが成功しています。

「フクロウと初対面」
広島県　竹島　尚
フクロウと初対面で、怖い、可愛いなど様々な思いが顔の表情に出ていて、想像が膨らみ楽しい作品です。

「はずかしがりやのハスちゃん」
徳島県　桑田　奈美
雨に打たれながらも花色も映え、美しく咲く蓮の花を幻想的な作品に仕上げました。



「無観客ライブ」
徳島県　大谷　枝穂
雨上がりのハスの葉にカエルを四方に囲む水滴が光に輝いている様子を、撮影者の観察力・想像力がカエルの無観客ライブに仕立て、美しく魅力的な作品に仕上げました。

「黄金色の朝空」
大分県　波多野　亜美
東の朝日が昇り始め雲の間隙から海面に伸びる光の筋、岩の上の鳥居がシルエットとなり、ドラマチックな作品になりました。

「向日葵と蜜蜂と青空」
浜松市　小松　亜津人
黄金に輝く向日葵にせっせと働く花粉まみれの蜜蜂が可愛くたくましく表現されました。とても良いシャッターチャンスを捉えました。

「燃える暑い夏（ど真ん中祭り）」
名古屋市　市川　貞夫
若い女性が、暑い夏に大きくて重い旗を強調し、美しく力強く振る女性のスナップショットが素敵です。

〈書道部門〉銅賞

「田」
青森県　今　遥也
古代文字のようなそして棚田のような字形となり楽しい作です。懸命さがよく出ています。自然な動きは作品に物語性を与え興趣が尽きません。

「刃」
青森県　田中　竣
鋭く紙を抉っていく起筆からの力強い線が光っています。筆と心が一致して躍動する最終画までの筆の軌跡は物語のような時間の流れを覚えます。

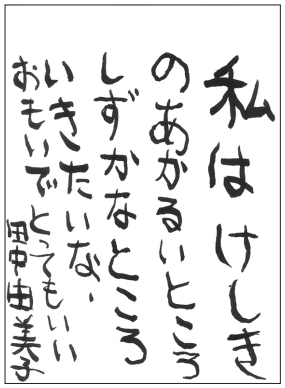
「探究」
青森県　石橋　咲佳
筆の握りに余分な力が入らず素直な送筆が作品に深さを与えています。起筆の力強さが際立つ一字目が作品に凛とした風情を醸し出しています。

「夢持つ心」
秋田県　山本　裕子
最後まで集中力を途切れさせずすっきりとした明るい線が見事です。曲線部は微妙な筆圧の変化が見えて線にゆとりと深さが加わっています。

「阿吽」
宮城県　阿部　晃大
どこまでもゆるやかに動く「阿」の終筆と心優しく静かに落下する「吽」の縦画の長さが上手に組み合わされ、奥行きのある見事な作品となっています。

「魂」
宮城県　鎌田　久夫
運筆の自然さには障害を感じさせない清冽な線となっています。伸びやかで温和なこの線を生み出す時間の長さと心の豊かさに魅かれます。

「道」
石川県　熊野　涼太
どこまでもそしてどこへでも続く道ですね。立ち止まりまた進む、そのような心の動きに合わせて筆が進んでいます。添え書きが楽し気です。



「しずかなところにいきたい」
石川県　田中　由美子
何の衒いも無く心のうちに浮かんだ言葉を書いていて不思議に心魅かれる作品です。無垢なる自然体は良寛様を想わせ楽しい作となりました。

「かわいい花」　滋賀県　北岸　杏佳

紙の中央に見事に書き上げています。筆圧を強くした深味ある線、すっきりと書かれた澄んだ線、最後の真丸の点などに大小の花が咲いています

「夏の美味」　滋賀県　中川　義人

漢字は表意文字ですがこの作品は手に余る大きな鰻を表現しています。魚偏は脂の乗った元気に逃げまわる様子を思い浮かべさせるに十分です。

「幸」　滋賀県　楠　美幸

漢字は神意を告げる手段です。激しく打ち込まれた起筆とゆるやかに伸びていく厚く温かな横画にこの文字に籠められた想いの深さを感じます。

「すいみん」　大阪府　長尾　一輝

伸びやかですっきりとした線が作品を大きく見せています。二行目の曲線は特に見事で筆のスムーズな抑揚が伸びある線に光を生じさせています。

「健」　島根県　板倉　健

起筆から終筆まで息を止めてしっかりと書いています。執筆に際しての余分な力の抜けた筆線は優しい和らぎを見せて心の温かさを想わせます。

「一心不乱」　徳島県　木下　達也

線を引くことに迷いが見えません。書くことに没入している様子が窺える見事な作品となりました。横画の角度の統一など強い心を出しています。

「ニコニコ」　徳島県　三谷　真希

楽しい作品です。屈託なく自由に筆を運んでいます。自然な筆致と呼吸があれば線に光と艶が生まれ文字が活き活きとした動きを見せる証拠ですね。

「夢」　香川県　松本　美栄子

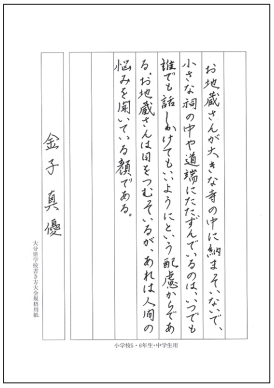
そっと優しく入筆して静かに大きく書いた筆跡は温和で豊かな情感を呼び起こします。無理をしないということの大切さを語っているようです。

「犬」　香川県　赤松　結輝

ムクムクの可愛い小犬でしょうか。しっかりと足を踏ん張った形には象徴性豊かで文字の成り立ちを思い浮かべさせてくれる作品となりました。

「気合い」　沖縄県　宇良　英子

コロナなどに負けるなと叱咤激励の言葉です。心を強く持ち続けた力感溢れる横線が訴える力には戦を続ける人が持つ強さが出ています。



「いつもありがとう」　大分県　金子　真優

硬筆作品ながら遅速を活かした書き方で毛筆に負けない動きが見事です。最後まで集中力が途切れず長文を書き上げた心の強さが窺えた作です。

「破壊」　愛媛県　高橋　克好

破天荒の大きさを出しています。文字の意味そのままで愉快な気分にさせられます。構成や筆致　動きをよく考えて表現された快作と言えます。

「虫」　横浜市　岩間　咲希

兜虫のような甲殻類を想わせる輝きを出している線は雑念を取り払い素直な筆の動きにより生まれたものです。しっかりと書かれた見事な作です。

「雲外蒼天」　さいたま市　池澤　恵美

外連の無い運筆が作品を大きく見せています。心の余裕が行書のリズムとよく合致して意先筆後の極意を十分掌中として自信を持って書いています。

「葉」　仙台市　中村　文音

朝露に輝く緑豊かな大きな葉となって芭蕉の葉や大木に繁茂した葉などを感じさせます。横線が活きています。名前の艶やかさは見事ですね。

「孔子廟堂碑より一節～PARTⅡ～」　大阪市　領木　柊芳（由美子）

楷書で一番難しいと言われる孔子廟碑の臨書です。碑の特性を把握して余分な力の抜けた暢達性に富んだ線で書き上げた見事な臨書作品です。

「愛」　静岡市　花井　大輔

力強く大胆に動いた力溢れる線が大変見事です。特に下部の余裕ある伸びやかで且強く温かな深い線を成した動きには大きな感動を覚えます。

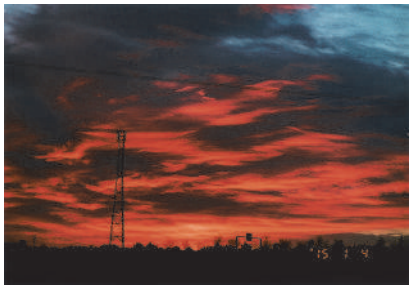
〈写真部門〉
銅賞

「はじめての雪祭り」
岩手県　上森合　洋子
初めての雪祭りでソリに乗り喜びと不安な少女の表情、それを心配するお父さんの気持ちが伝わる作品です。

「春の始まり」
宮城県　白鳥　正和
満開の古木の枝垂れ桜、一人見惚れるピンクの服を着た女性を入れたことでフォトジェニックな作品になりました。

「あかとみどり」
宮城県　佐藤　虎斉
日の光を浴び、みんなで愛情を持って育てたトマトが色づき始め、赤と緑に命輝くトマトに感動している様子が伝わります。

「モネとモネ」
宮城県　佐々木　雅恵
ピンクの蓮の花を大きく撮影し、特徴的な蓮の葉を入れたことで花の美しさが強調され、印象的な作品となりました。



「朝焼け」
群馬県　清水　幸雄
真っ赤に染まった朝焼けが綺麗！と撮影者の感動がストレートに伝わる印象的な作品です。

「二階へ」
埼玉県　中川　秀夫
アーチ状の柱に柔らかい光が当たり、階段がシルエットとなって、とても美しく空気感のある作品になりました。

「柿すだれ」
千葉県　増澤　幾子
軒先に簾のような吊るし柿が天日に当たりオレンジ色に輝いています。青い空を入れたことで、オレンジ色に輝く吊るし柿が美しくまるでカーテンのようです。

「モーニングタイム」
愛知県　髙須　秀峯
マクロレンズを使用したことで蜜を求めて花にとまった蝶が大きくシャープに撮影されました。背景をぼかしたことで蝶が強調され美しい作品になりました。

「私もたべたい」
鳥取県　平田　雅人
蜜を求めて花にとまった一匹の蜂、これからとまろうとする小さい蜂が左右に、とても良いシャッターチャンスを作品にしました。

「ツイン」
徳島県　杉野　功祐
真っ青な空をバックに、滑り台を正面から画面一杯に撮影したことで生き物のように見えるユニークな作品になりました。

「鳥居と赤の橋」
徳島県　堀江　由香莉
鳥居をシルエットに額縁の様にして、奥に赤い橋を渡る二人の人物をいれたことで奥行きが出てフォトジェニックな作品になりました。

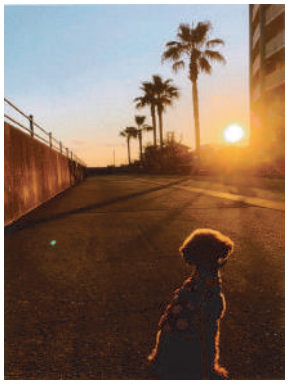
「脇役にも光を」
香川県　金丸　泰明
斜光で光が当たりアジサイの花と葉に立体感が出て、背景を落としたことで花と葉の美しさが強調され画面から浮き出てくるような印象的な作品になりました。

「Brocconic」
「(ブロッコリーの海(畑)でタイタニック)」
香川県　塩入　勝照
二羽の鳥の交尾のシーンでしょうか。オスが羽を大きく広げるホバリングを見事に撮影し印象的な作品になりました。

「また釣りに行きたいけどもう魚おらんもんね。だって海の魚ぜーんぶ釣ったからね」
長崎県　鶴田　尚之
磯釣りで釣りあげた多くの輝くアジをまな板に並べ撮影したことで釣り人の感動が伝わる作品になりました。

「笑う門には福来る」
熊本県　伊藤　信郎
同窓会がとても楽しかったのでしょうか。皆さんの満面の笑みが素敵で、写真を観る私たちも幸せにしてくれる作品です。

「馴れたスズメ」
広島市　花ノ木　清孝
人に慣れたスズメでしょうか。手の平で首を曲げ懸命に食べる瞬間を見事に撮影し、微笑ましい作品に仕上げました。



「愛犬とみる風景」
広島市　吉見　ひかる
青空から夕焼けに変わるグラデーションの美しい夕焼けを撮影者と愛犬が一緒に見る姿、心温まる作品です。

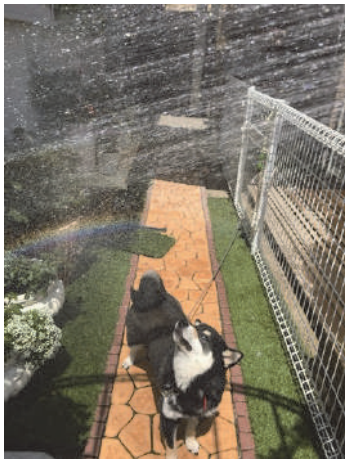
〈携帯フォトの部〉
入賞

「伊香保温泉街と仲間たち」
群馬県　高橋　宜隆
階段や坂道の多い伊香保温泉に迂回路を使い車椅子で登りみんなで入った温泉を楽しんだみなさんの笑顔が素敵です。心温まる作品です。

「日常」
埼玉県　堀川　真帆
住宅街の長く高い階段の手前に人物を入れ、縦位置で撮影したことで階段の高さが表現され、町の空気感が伝わる作品です。

「結婚 60 周年」
山梨県　五味　洋一朗
長く連れ添ったお二人の人生がにじみ出た温かい作品で、とても良いポートレートになりました。

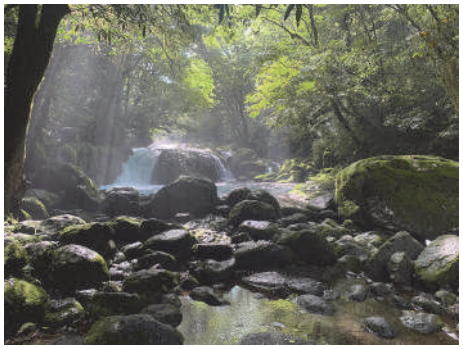
「あなたが私にくれた時間」
神奈川県　仲村　亜衣美
嬉しさで舌を出し緩んだ表情の犬と一緒に撮った撮影者の微笑ましい作品です。



「愛犬と虹」
徳島県　溝渕　修矢
頭上の虹が見えるシャワーを心配そうに見つめる愛犬を温かく見つめ、撮影者の愛情を伝わる作品になりました。

「我が愛する田園風景」
長崎県　小林　恵子
散歩途中、日の光を浴びる山々、黄金の稲穂、曼殊沙華を縦位置で奥行きを出し、心安らぐ美しい田園風景に感動した撮影者の気持ちがとてもよく表現されています。

「サステナブルグリーン」
徳島県　水本　邦弘
狭い瓶の中で燃やし続ける命に光を当て、背景を暗くしたことで命の神秘さが表現されました。

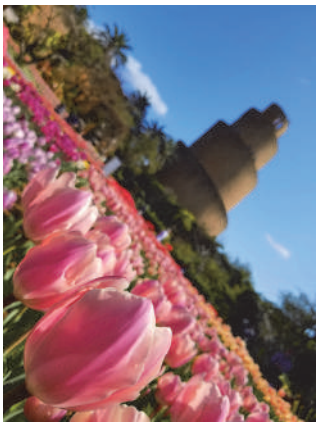


「命のみなもと」
熊本県　坂口　美果
渓流に濡れて輝く石、朝靄にさす木漏れ日が美しく、幻想的な作品になりました。

「やさしさに包まれて…」
大分県　　佐藤　貞子
満開のユリに鎮座するカエルがとても可愛らしく撮れました。ユリの黄色、めしべのオレンジ、カエルの緑の構図が素敵です。

「自然にかこまれて」
宮崎県　　匿名希望
青い空に光る雲を写す海、海に浮かぶ一艘の船、とても気持ち良く心安らぐ風景を見事に作品にしました。

「朝の空」
鹿児島県　　匿名希望
朝日を受け美しく曙色に輝く雲、その前の電線が五線譜のようでメロデイーが聞こえてきそうな作品です。



「沖縄のチューリップ」
沖縄県　喜友名　健斗
斜めに撮ることで奥行きが出て、咲き誇る多数のチューリップがダイナミックな作品になりました。

「おしくらまんじゅう」
沖縄県　　喜友名　サユリ
冬の庭先におしくらまんじゅうをするかのように集まった猫たちが可愛く撮れています。

「介助犬とイチゴ」
仙台市　我妻　進之
美味しそうなイチゴをまん丸の目をして見つめる介助犬がとても可愛く撮られています。犬の顔をアップで撮影したことで主役が強調されました。

「87年の時を越えて　ベーブ・ルースVS沢村栄治」
静岡市　小泉　有和
夜に沢村栄治とベーブルース二人の銅像に光を当て、沢村を背後から画面に大きく入れたことで緊張感のある作品になりました。

290 号誌面におきまして、ご執筆者である２ページ杉田様のお名前が間違っておりましたので、ご報告し訂正させていただきます。正しくは下記のとおりです。心よりお詫び申し上げます。

誤）杉山啓之　⇒　正）杉田啓之

戸山サンライズ（通巻第291号）
発　行　令和4年1月20日
発行人　公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会　　会長　炭谷　茂
編　集　全国障害者総合福祉センター
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1　TEL.03(3204)3611(代表)　FAX.03(3232)3621
https://www.normanet.ne.jp/~ww100006/index.htm